

指定管理者が行う公の施設の管理状況報告 (平成28年度)

1	県営都市公園 北勢中央公園	1
2	県営都市公園 鈴鹿青少年の森	5
3	県営都市公園 亀山サンシャインパーク	9
4	県営都市公園 大仏山公園	13
5	県営都市公園 熊野灘臨海公園	17
6	三重県流域下水道施設	21
7	三重県営住宅 <北勢ブロック>	25
8	三重県営住宅及び三重県特定公共賃貸住宅 <中勢伊賀ブロック>	30
9	三重県営住宅及び三重県特定公共賃貸住宅 <南勢ブロック>	36
10	三重県営住宅 <東紀州ブロック>	42

平成29年10月6日

県 土 整 備 部

指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（平成 28 年度分）

＜県の評価等＞

施設所管部名： 県土整備部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	県営都市公園 北勢中央公園（四日市市西村町地内）
指定管理者の名称等	株式会社名阪造園 代表取締役 田中清平（四日市市野田2丁目5-23）
指定の期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の維持修繕及び巡視点検に関する業務 ・公園の利用者への案内に関する業務 ・条例に基づく公園の利用時間の変更、公園内の行為の制限、利用の禁止又は制限 ・公園施設のうち野球場、テニスコートの利用の許可 ・公園の利用の促進 ・その他の業務

2 施設設置者としての県の評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	H27	H28	H27	H28	
1 管理業務の実施状況	B	B			公園利用者の意見を取り入れたり、利用者の安全対策を強化するなど、植物管理や公園施設の適正な管理が行われている。
2 施設の利用状況	B	B			利用料金収入は、目標の915万4千円に対し、10,914,160円となり、目標を達成した。また、公園の利用促進として、年間14回のイベントを開催し、集客に努めた。
3 成果目標及びその実績	B	B			年間公園利用者数は、成果目標の23万人に対し、234,581人となり、成果目標を達成した。

※「評価の項目」の
 県の評価： 「+」（プラス） → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 「-」（マイナス） → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 「 」 （空白） → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な 評価	<p>（指定管理者の評価に対する県の評価）</p> <p>指定管理者においては、すべての項目についてB評価としている。</p> <p>「管理業務の実施状況」については、植物管理や施設管理を適切に行っており、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>「施設の利用状況」については、利用料金収入が目標を達成したことや様々なイベントを実施して集客に努めたことから、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>「成果目標及びその実績」については、年間公園利用者数が成果目標に対し、102.0%の達成率となり、目標を達成したことから、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>（今後の課題又は指定管理者への期待）</p> <p>引き続き成果目標を達成していくため、利用者拡大に向けたさらなる取組を実施していく必要がある。</p> <p>利用者の安全・安心を確保するため、より一層適切な維持管理を行う必要がある。</p>
------------	---

<指定管理者の評価・報告書（平成28年度分）>

指定管理者の名称：株式会社名阪造園

1 管理業務の実施状況及び利用状況

(1) 管理業務の実施状況

① 北勢中央公園事業の実施に関する業務

- 公園の利用促進として、年間を通じ計14回のイベントを実施し、例年好評をいただいているイベントは継続し、リピーターの増加に努めた。その中で毎年11月に開催するイベント「秋の公園まつり」では、これまで以上の利用者が訪れ、北勢中央公園の認知や利用促進につながった。
- 利用者ニーズに応じて管理事務所への簡易ベンチの設置や池周辺への救命浮き輪の設置を行い、利用しやすい場の提供と安全対策の実施に努めた。
- 平成28年度から西側園路が供用開始となり、安全を期するために注意看板を設置した。
- 利用者に満足していただけるよう、緑地管理の徹底に努めるとともに、スズメバチの巣を撤去するなど常にきれいで安全な状態を維持できるよう努めた。

② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

- 公園内の電気施設、浄化槽設備、消防設備の点検に関しては、専門業者に委託して定期的に点検を実施した。また、毎日の巡回時に点検を行うことで異常等の早期発見に努めた。
- 園内の修繕に関して、東エントランストイレ扉の修理や芝生広場街路灯の修理、芝生広場トイレの配管修理等を行った。
- 夏期より水のプラザの噴水を稼働するにあたり、施設周辺を高圧洗浄機を使用して清掃を実施した。

③ 県施策への配慮に関する業務

- 持続可能な循環型社会の創造に向けた環境保全活動として、緑地管理で排出した枝・葉のチップ化や堆肥化を実施した。
- 男女共同参画社会の実現に向けて、公園スタッフの登用には人柄、適性、能力を重視し、性別関係なく幅広い人材を採用している。
- 次世代育成支援の推進として、環境を大切にする意識を育むことを目的とし、自然観察会などの子ども向けイベントを多く実施した。

④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

- 北勢中央公園の管理に関する情報公開実施要領に基づき適切に対応した。平成28年度の開示請求はなかった。
- 作成した個人情報保護管理マニュアルに沿って公園職員を対象とした研修会を実施した。

⑤ その他の業務

- 伊勢志摩サミット開催時期のテロ等対策として、巡回の強化及びごみ箱（空き缶）の集約化を行った。
- 11、12月に軽トラックバッテリー、工具等の盗難や自動販売機が破壊される等の被害を被り、四日市西警察署に通報して対応した。再発防止の取組として、警察への夜間巡回等、その他防犯対策に努めた。
- 近隣住民対応として、草刈りや倒木の処理を実施した。

(2) 施設の利用状況

<目標>	年間公園利用者数	23万人
<実績>	年間公園利用者数	234,581人
(内訳)	園内利用者数	186,368人
	野球利用者数	17,499人
	テニス利用者数	30,714人

2 利用料金の収入の実績

<目標>	利用料金収入	9,154,000円
<実績>	利用料金収入	10,914,160円
(内訳)	野球場	2,694,200円
	テニス	8,219,960円

3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位：円)

	収入の部		支出の部		
	H27	H28		H27	H28
指定管理料	55,440,000	55,932,000	事業費	32,273,268	28,559,829
利用料金収入	10,519,200	10,914,160	管理費	30,932,579	37,927,506
その他の収入	912	51	その他の支出	0	0
合計(a)	65,960,112	66,846,211	合計(b)	63,205,847	66,487,335
収支差額 (a)-(b)	2,754,265	358,876			

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

※参考

利用料金減免額	-
---------	---

4 成果目標とその実績

成果目標	年間公園利用者数 23万人
成果目標に対する実績	年間公園利用者数 234,581人
今後の取組方針	平成28年度の公園利用者数は、成果目標数値を上回ることができた。今後も積極的なPR活動や魅力的なイベントを行い、さらなる利用者の増加を図る。

5 管理業務に関する自己評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	H27	H28	
1 管理業務の実施状況	B	B	公園の適切な利用に関する案内、ベンチ・トイレ・遊具その他工作物の日常点検や清掃、公園全体における適切な緑地管理を随時行い、利用者が安らぐことができる安全・安心な場の提供に努めた。また、施設利用者ニーズへの対応として、管理事務所への簡易ベンチの設置や池周辺への救命浮き輪の設置を行い、利用者の満足度の向上を図るとともに、安心して利用いただけるよう管理運営に取り組んだ。
2 施設の利用状況	B	B	野球場及びテニスコートの利用者数は、平成27年度に比べ4,313人減少したものの、利用料金収入については目標値を上回ることができた。野球・テニスともに一般の利用者数が増加し、高校生以下のクラブ活動や試合等の団体利用が減少したことが理由と考えられる。
3 成果目標及びその実績	B	B	平成28年度の年間公園利用者数は234,581人となり、成果目標の23万人に対し102.0%の達成率となり、目標を達成できた。今後も利用拡大に向け、さらなる取組を実施していく。

※評価の項目「1」の評価 : 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
「B」 → 業務計画を順調に実施している。
「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価 : 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
「B」 → 当初の目標を達成している。
「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	<p>●上記の評価に至った理由</p> <p>年間公園利用者数は成果目標を達成することができたが、その要因としてはさまざまなイベントや地域との連携で新たな講座を開くなど公園の周知に取り組んだことが考えられる。</p> <p>今後の取組として、公園の認知度の向上を図るため、他の県営都市公園と連携したイベントの開催やホームページやSNS等を活用して情報提供を充実させていく。</p> <p>また、連続して盗難や自動販売機の損壊事案が発生したため、管理体制の見直しや防犯対策の強化を図った。</p> <p>今後もより一層の地元警察との連携を強め、管理体制の随時見直しや公園スタッフ間での危機管理意識を高め、未然防止に努める必要がある。</p>
--------	---

指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（平成 28 年度分）

＜県の評価等＞

施設所管部名： 県土整備部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	県営都市公園 鈴鹿青少年の森（鈴鹿市住吉町地内）
指定管理者の名称等	三重県森林組合連合会グループ 代表者 三重県森林組合連合会 代表理事会長 朝尾高明（津市桜橋 1 丁目 104 番地）
指定の期間	平成 25 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の維持修繕及び巡視点検に関する業務 ・公園の利用者への案内に関する業務 ・条例に基づく公園の利用時間の変更、公園内の行為の制限、利用の禁止又は制限 ・公園の利用の促進 ・その他の業務

2 施設設置者としての県の評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	H27	H28	H27	H28	
1 管理業務の実施状況	B	B			枯れ松処理や施設修繕を迅速に行うなど、植物管理や公園施設の適正な管理が行われている。
2 施設の利用状況	B	B			ホームページでの施設の利用申込み状況の公開やイベント情報の報道提供など、利用者への情報提供を積極的に行っている。
3 成果目標及びその実績	B	A			年間公園利用者数は、成果目標の 26 万人に対し、314,559 人となり、成果目標を達成した。

※「評価の項目」の
 県の評価： 「+」（プラス） → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 「-」（マイナス） → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 「 」 （空白） → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	<p>（指定管理者の評価に対する県の評価）</p> <p>指定管理者においては、「成果目標及びその実績」については A 評価とし、他の項目については B 評価としている。</p> <p>「管理業務の実施状況」については、植物管理や施設管理を適切に行っており、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>「施設の利用状況」については、自主事業の実施にあたり積極的な情報提供を行うなど利用者の増加に向けた取組を実施していることから、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>「成果目標及びその実績」については、年間公園利用者数が成果目標に対し 121.0% の達成率となった。この要因としては、11 月の三重県中学校駅伝大会について開催会場として受け入れを行い公園利用者が増加したこと、自主事業によるイベントを開催し公園の魅力を PR した結果、イベント参加者が増加したことがあげられる。目標を大幅に上回る結果となったことから、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>（今後の課題又は指定管理者への期待）</p> <p>目標を達成したものの、引き続き集客力の維持に努め、サービスの向上に取り組む必要がある。</p> <p>利用者の安全・安心を確保するため、より一層適切な維持管理を行う必要がある。</p>
--------	--

< 指定管理者の評価・報告書（平成 28 年度分） >

指定管理者の名称：三重県森林組合連合会グループ

1 管理業務の実施状況及び利用状況

(1) 管理業務の実施状況

① 鈴鹿青少年の森事業の実施に関する業務

三重県森林組合連合会グループは、公園に親しみを持ってもらい、森林・林業の役割をPRするため県内の森林組合などの協力を得て、隣接する鈴鹿青少年センター主催のイベント「センターフェスタ」開催時に「森の感謝祭」を行った。また、鈴鹿青少年センターや地域の利用者の意見を聞きながら、円滑な公園運営を行った。

公園利用者の安全・安心が最重要であり、園路周辺の枯れ木、枯れ枝の除去を優先的に行うとともに、枯れ木のない景観を目標に管理を行った。具体的には、マツ枯れ防止剤の樹幹注入を4ヶ年で計画的に実施しており、4年目にあたる最終年の平成28年度はマツ171本に実施した。枯れマツ除去は、平成28年度に枯れたマツ12本、過年度に枯れたマツ362本を処理した。ナラ枯れについても同様に、平成28年度に枯れたナラ4本、過年度に枯れたナラ44本を処理した。園路周辺の枯れ枝の処理については、確認調査を行い、高所作業車にて除去した。

セアカゴケグモ対策については、公園利用者の安全を重視し、発見されたベンチ等は駆除が確認できるまで使用禁止とした。

景観対策として、ベンチの清掃、湿地帯の保全のため枯草除去等の活動を行い、また、芝生管理・生垣管理等のうち専門的技能を必要とするものについては、外部委託を行った。ハナショウブ・サクラの植栽及び湿地帯の保全活動等については、公園利用者にボランティアとして参加していただき、住民参加の促進を図った。

施設の利用促進に向けた取組としては、さわやかウォーキング教室、ディスクゴルフ体験会、婚活BBQパーティー、きのこ観察会、野鳥観察会、寄せ植え講座、葉草葉樹観察会、樹木勉強会、湿地帯の植物観察会、リース作り、草木クイズ、シイタケ菌打ち体験、親子木工教室、しおり作り、木エクラフト、木育紙しばい等といったイベントの開催、ハタケシメジ等の林産品販売等を行った。

緊急時の対策として、通報訓練及び職員間伝達訓練を行った。

② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

(委託)

保守点検については、所定の手続きにより業者を選定し、委託により実施した。

自家用電気工作物保守管理、浄化槽保守点検及び清掃、給水施設(北エリア)清掃等業務、浄化槽水質検査、遊具点検(定期点検)業務委託、受付事務所設置業務委託、芝生管理業務委託、生垣維持管理業務委託、トイレ清掃業務、廃棄物収集・運搬業務及び産業廃棄物処理業務委託、受付事務所防犯警備業務、8耐及びF1駐車場等管理警備業務、青少年の森賠償責任保険加入、イベント保険等加入、トイレ外壁塗装業務

(修繕)

道伯池転落防止柵補修、炊飯場炉修理、炊飯場格子蓋取替、芝生遊具基礎部への山砂補充作業等修繕、トイレ便座取替、トイレ内装補修、人工滝配電盤タイマー取替、受付事務所入口改修、トイレ浄化槽蓋改修、トリムコースアスファルト舗装補修など

③ 県施策への配慮に関する業務

- ・東日本大震災の被災者支援について、ホームページに該当者の公園施設の利用料の免除を掲載。
- ・枯損松、ナラ枯れの伐倒処理→チップ材として資源活用。
- ・園内従事者→鈴鹿市を中心に年齢、性別等の差別なく雇用している。
- ・環境に配慮した取組→伐倒作業に使うチェーンソーのオイルを植物性とした。
- ・案内標識等の支柱、親子木工教室、大人の木工教室に三重県産間伐材を使用し、園内に設置した野鳥の巣箱に三重県産杉材を使用した。
- ・電灯の点灯時間節減管理や、コピー用紙の裏面再利用などによりコスト節減に取り組んだ。
- ・落葉の堆肥化に努めた。

④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

- ・ 鈴鹿青少年の森管理に関する情報公開実施要領及び文書整理保管要領に基づき対応した。
→平成28年度の開示請求なし。
- ・ 個人情報に記載されている申請書等→ロッカーに保存し、管理を徹底している。
- ・ 夜間の主要事務所の管理→警備会社に管理委託（事務所防犯警備業務）

⑤ その他の業務

- ・ 事故の発生及び報告については適切に対応した。
- ・ 巡回警備については、職員の巡回を通じて対応した。
- ・ 駐車場での車上荒らし：巡回業務を強化するとともに、掲示板等により注意喚起を行った。
- ・ 簡易な修繕は業者に委託せず修繕を行った。（トイレ・遊具等）
- ・ 植生の無断採取、指定された場所以外のテント等設置、他の利用者への迷惑な行為及び公園内での危険な行為：その都度指導を行った。
- ・ 長寿命化計画策定業務に関するデータ入力を行った。
- ・ 年次計画に記載していない外部委託は、鈴鹿建設事務所に協議して対応した。

(2) 施設の利用状況

<目標> 年間公園利用者数 26万人

<実績> 年間公園利用者数 314,559人

(内訳) 巡回による把握人数：262,778人 炊飯場等利用人数：17,536人
自主事業参加人数：3,175人 その他施設利用人数：31,070人

【施設利用申請件数】

炊飯場→443件 多目的広場→285件 中央広場→9件 芝生広場→19件 トリムコース
→460件 園内利用→160件 ディスクゴルフ→16件 キャンプ→97件

2 利用料金の収入の実績

3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位：円)

	収入の部		支出の部		
	H27	H28	H27	H28	
指定管理料	43,496,000	43,496,000	事業費	6,426,298	6,131,068
利用料金収入	0	0	管理費	37,352,168	38,237,507
その他の収入	27,520	58,020	その他の支出	0	0
合計(a)	43,523,520	43,554,020	合計(b)	43,778,466	44,368,575
収支差額 (a)-(b)	△254,946	△814,555			

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

※参考

利用料金減免額	—
---------	---

4 成果目標とその実績

成果目標	年間公園利用者数 26万人
成果目標に対する実績	年間公園利用者数 314,559人
今後の取組方針	引き続き枯れ松等を適正に管理し、安全面、景観面でも満足できる公園としていく。 当公園が有する施設（樹木・草花を含む）を有効活用することにより、県民サービスの向上に努める。 青少年センター等と連携を図り、スムーズな運営管理に努める。 利用者のご意見要望等を運営に反映し、利用者増につながる取組を行っていく。

5 管理業務に関する自己評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	H27	H28	
1 管理業務の実施状況	B	B	・利用者優先の維持管理を行い、特に問題等は発生しなかった。 ・管理車両の園内巡視のための走行速度を10km程度とし、園路利用者を追い越して走行することのないよう、職員に周知した。 ・枯れ松の伐採、林内清掃、枯損木の搬出等を行い、公園利用者の安全確保を優先した管理を行った。伐採した樹木については、チップ化し資源の有効活用にも努めた。
2 施設の利用状況	B	B	・施設の利用申込み状況をホームページに掲載したり、鈴鹿市広報、地元誌、公園内の掲示板等による各種情報の提供を行い、利用者の利便性を高めた。
3 成果目標及びその実績	B	A	・成果目標260,000人→+54,559人となり目標達成できた。

※評価の項目「1」の評価：

「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
「B」 → 業務計画を順調に実施している。
「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価：

「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
「B」 → 当初の目標を達成している。
「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総合的な評価	<p>●上記評価に至った理由</p> <p>受付業務、維持管理業務ともに、親切、丁寧に対応をした。 枯れ松林の管理については、安全・安心・景観を確保する上で、初年度からの取組は、所期の目標をほぼ達成できつつある。 危機管理については、月1回の全体会議等で職員の認識を高め、訓練を行うなど、危機管理意識の向上に努めた。</p> <p>平成28年度は、7月上旬に中央広場のベンチにてセアカゴケグモが発見され1週間ほど使用禁止となったものの、11月に三重県中学校駅伝大会の会場になるなど駅伝大会の開催が増えた。また、利用者の安全・安心を確保したうえで、自主事業によるイベントを19回開催し、この公園の魅力をPRした結果、利用者数は31万4,559人となり、成果目標の年間利用者数26万人の121%となった。</p> <p>引き続き、成果目標を達成できるよう、利用者数が増加する施策を考案して実行したい。</p> <p>●残されている課題</p> <p>施設全体が老朽化している中、安全を最重要課題として捉え、植物管理、枯れ松予防に取り組み、景観を保全し、さらなる県民サービスの向上をめざし、利用促進を図っていく。</p>
--------	---

指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（平成 28 年度分）

<県の評価等>

施設所管部名： 県土整備部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	県営都市公園 亀山サンシャインパーク（亀山市布気町地内）
指定管理者の名称等	株式会社東産業 代表取締役 木室浩一（四日市市野田1丁目8番38号）
指定の期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の維持修繕及び巡視点検に関する業務 ・公園の利用者への案内に関する業務 ・条例に基づく公園の利用時間の変更、公園内の行為の制限、利用の禁止又は制限 ・公園の利用の促進 ・その他の業務

2 施設設置者としての県の評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	H27	H28	H27	H28	
1 管理業務の実施状況	A	A			植物管理や公園施設の適正な管理が行われている。さらに、地域住民やボランティア団体と協力するなど、住民参加の促進に取り組んでいる。
2 施設の利用状況	A	A			アンケート調査結果に応じた新規の自主事業を実施した。また、積極的な広報活動による新聞への掲載など、公園の利用促進を図った。また、イベント参加者に対して行ったアンケートでは、大半が満足したと回答している。
3 成果目標及びその実績	A	B			年間公園利用者数は、成果目標の80万人に対し、865,278人となり、成果目標を達成した。

※「評価の項目」の
 県の評価： 「+」（プラス） → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 「-」（マイナス） → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 「 」 （空白） → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

<p>総括的な評価</p>	<p>（指定管理者の評価に対する県の評価）</p> <p>指定管理者においては、「成果目標及びその実績」についてはB評価とし、他の項目についてはA評価としている。</p> <p>「管理業務の実施状況」については、ハナショウブを植えた区画を再生するなど、植物管理や施設管理を適切に行っている。また、地域住民やボランティア団体と協力しながら園内の植栽管理を行うなど、住民参加の促進を図る取組を実施したことから、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>「施設の利用状況」については、利用者を対象に行ったアンケート調査の結果を受けて新規の自主事業を実施したり、積極的な広報活動によりイベントに関する記事が新聞に掲載される回数が増えるなど利用促進に取り組んだことから、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>「成果目標及びその実績」については、年間公園利用者数が成果目標に対し108.2%の達成率となり、目標を達成したことから、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>（今後の課題又は指定管理者への期待）</p> <p>引き続き成果目標を達成していくため、利用者拡大に向けたさらなる取組を実施していく必要がある。</p> <p>利用者の安全・安心を確保するため、より一層適切な維持管理を行う必要がある。</p>
---------------	---

< 指定管理者の評価・報告書（平成28年度分） >

指定管理者の名称： 株式会社東産業

1 管理業務の実施状況及び利用状況

(1) 管理業務の実施状況

① 亀山サンシャインパーク事業の実施に関する業務

〔1〕 維持管理業務

芝生の張替300㎡、芝刈りを6回実施、全体除草を4回実施、年間を通じて人力除草や清掃に力を入れた。セアカゴケグモ発生対策消毒作業を年2回実施。亀山サンシャインパークボランティア団体「愛護会」と協働で、花壇緑化を実施した。

〔2〕 運營業務

常に最新の情報をホームページ及びSNSに掲載し、情報発信に努めた。年間イベントカレンダーを作成し発行。35組の団体に、遠足やイベント等で公園を利用していただき、他企業や団体と共同イベントを2回開催した。大学生と産学協働で、公園の活性化を目的とした活動を行っている。

以下の自主事業を開催。地域住民や団体にご協力をいただき、県民サービスの向上に努めた。

- ・こいのぼり掲揚（4月23日～5月末）
- ・ゴールデンウィークGO!GO!フェスタ（5月）
- ・カプトムシナイトツアー（7月～8月）
- ・親子キャンプ（7月・10月）
- ・子どもたちだけのお泊りキャンプ（8月）
- ・池の魚の観察会（9月）
- ・スポーツフェスタ（10月）
- ・トンボの観察会（10月）
- ・秋まつり（11月）
- ・冬の星空観察会（12月）
- ・バードウォッチング（1月）
- ・トリム競技大会（3月）
- ・ウメの木を植えよう（3月）
- ・フォトコンテスト（通年）
- ・プレイパーク（4月～3月の毎月第3日曜日）
- ・ウォークラリー（通年）
- ・亀山サンシャインパークを考える懇談会（2月）

② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

○電気設備、給水設備、消防設備の設備点検に関しては、専門業者に委託し、点検を実施。

○修繕実施箇所

- ・遊具：山砂充填、ロープのねじ緩み締め、板材補強、コーキング処理
- ・ウッドデッキ：腐食部板材取替30か所
- ・トイレ：北トイレタイル補修、北男子トイレ水道蛇口交換、北トイレ目隠し塗装、西トイレ目隠し塗装、北女子トイレ蛍光灯交換、西トイレ蛍光灯交換2か所
- ・階段：丸太階段設置換え16か所
- ・ベンチ：丸太ベンチ取替5か所、キッズランドベンチ板取替7か所
- ・バーベキューランド：釜戸モルタル補修、木製テーブル塗装8か所
- ・その他：車止めバリカー交換、フットライトカバー交換2か所、外灯電球交換、自転車置き場シール張替え、ウォーターガーデン木柵取替1/3区画

③ 県施策への配慮に関する業務

○「人権尊重社会の実現」として、車いすの貸出しを実施したほか、案内ポスターを日本語、英語、中国語、ハングル、ポルトガル語の5か国語対応とした。

○「男女共同参画社会の実現」として、女性や高齢者をスタッフとして採用した。また、地元の方々（愛護会）にボランティアのご協力をいただき、園内美化を実施した。

○「次世代育成支援の推進」として、イベント「キャンプ」や「自然観察会」及び「プレイパーク」を実施し、自然への親しみや実践的な教養を育んだ。

④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

○亀山サンシャインパークの管理に関する「情報公開実施要領」に基づき対応した。

→平成28年度開示請求はなし。

○個人情報保護責任体制を明確にし、個人情報が明記された資料等は鍵付きロッカーに保管している。

⑤その他の業務

- バーベキュー道具の販売・レンタルの実施
- 大阪商業大学と産学協働で公園の活性化に向けた取組を実施。

(2) 施設の利用状況

<目標>

年間公園利用者数：80万人

<実績>

年間公園利用者数：865,278人（前年度：922,590人 対比：93.8%）

（内訳）

園内利用者数：90,335人（前年度：119,999人 対比：75.3%）

オアシス館：747,513人（前年度：773,875人 対比：96.6%）

バーベキューランド：8,271人（前年度：9,069人 対比：91.2%）

イベント等の利用者：19,159人（前年度：19,647人 対比：97.5%）

他団体による公園利用 16件 学校等による遠足利用 19件

2 利用料金の収入の実績

集会利用2件 3,608円
ロケーション撮影1件 1,290円

3 管理業務に関する経費の収支状況

（単位：円）

	収入の部		支出の部		
	H27	H28		H27	H28
指定管理料	22,188,000	22,188,000	事業費	3,698,863	4,398,174
利用料金収入	74	4,898	管理費	18,492,914	17,212,844
その他の収入	79,131	77,146	その他の支出	0	0
合計(a)	22,267,205	22,270,044	合計(b)	22,191,777	21,611,018
収支差額 (a)-(b)	75,428	659,026	/		

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

※参考

利用料金減免額	—
---------	---

4 成果目標とその実績

成果目標	年間公園利用者数：80万人
成果目標に対する実績	年間公園利用者数：865,278人
今後の取組方針	平成28年度の公園利用者数は、成果目標数値を上回ることができた。今後も魅力的なイベントや、広報活動、また公園利用者の拡大に向けたイベントの誘致を積極的に行うことで、さらなる利用者の増加を図る。

5 管理業務に関する自己評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	H27	H28	
1 管理業務の実施状況	A	A	園内巡回やトイレ清掃を毎日行い、「いつ来てもきれいな公園」を提供できるよう維持管理を行った。平成28年度は、芝生張替、枯損木撤去、ハナショウブを植えた区画の再生、ウッドデッキの板材取替など、安全な施設管理に取り組んだ。ボランティア団体と協働で、花壇緑化や樹林地整備を実施した。 また、年間2回実施したアンケート調査では、満足度94%と99%の結果をいただくことができた。今後も利用者に満足していただける公園づくりを行っていく。
2 施設の利用状況	A	A	当公園主催にとどまらず、他団体などと協力し自主事業を積極的に行ったほか、ホームページやSNS・新聞などを活用し、利用促進に努めた。
3 成果目標及びその実績	A	B	年間公園利用者数が865,278人であったことから、成果目標の80万人に対して108.2%の達成率となり、昨年度に引き続き、目標を達成した。今後も魅力的な公園づくりに努め、さらなる利用者の増加を図る。

※評価の項目「1」の評価：
 「A」→ 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 「B」→ 業務計画を順調に実施している。
 「C」→ 業務計画を十分には実施できていない。
 「D」→ 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価：
 「A」→ 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 「B」→ 当初の目標を達成している。
 「C」→ 当初の目標を十分には達成できていない。
 「D」→ 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	<p>●上記評価に至った根拠 年間公園利用者数は成果目標を達成することができた。その要因としては、昨年度に引き続き「こいのぼりの掲揚」や大型集客イベントを行ったこと、またアンケート調査に応える自主事業を積極的に行ったことが考えられる。 また老朽化した「ウッドデッキ」や「ウォーターガーデンの木柵」など、安心・安全に向け当社で直せる箇所については随時実施をした。</p> <p>●残されている課題 ・経年劣化による、大型遊具やウッドデッキの修繕、ウォーターガーデンの再生。</p> <p>●その他 平成28年度に2回行ったアンケート調査での満足度は94%と99%であった。「いつもキレイな公園である」という回答を多くいただき、地域住民をはじめ、多くの公園利用者に喜んでいただける結果となった。また、利用者からいただいたご意見は、できる範囲内で応えた。 その他、多種多様なイベントを積極的に実施し、県民サービスの向上に努めるなど、公園利用価値を高めることができた。</p>
--------	---

指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（平成 28 年度分）

< 県の評価等 >

施設所管部名： 県土整備部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	県営都市公園 大仏山公園（多気郡明和町新茶屋他地内）
指定管理者の名称等	有限会社太陽緑地 代表取締役 吉川信吾（伊勢市下野町600-13）
指定の期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の維持修繕及び巡視点検に関する業務 ・公園の利用者への案内に関する業務 ・条例に基づく公園の利用時間の変更、公園内の行為の制限、利用の禁止又は制限 ・公園施設のうち野球場、テニスコート及びゲートボール場の利用の許可 ・公園の利用の促進 ・その他の業務

2 施設設置者としての県の評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	H27	H28	H27	H28	
1 管理業務の実施状況	B	B			利用者の要望や意見に対応し、植物管理や公園施設の適正な管理が行われている。
2 施設の利用状況	B	B			野球場、テニスコートの利用者数は、ともに平成27年度より増加した。また、年2回の大型イベントは平成27年度同様盛況であり、さらに新たなイベントを開催した。
3 成果目標及びその実績	B	B			年間公園利用者数は、成果目標の22万人に対し、209,728人となり、成果目標を達成できなかったが、平成27年度より418人増加した。

※「評価の項目」の県の評価： 「+」（プラス） → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
「-」（マイナス） → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
「 」 （空白） → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総合的な評価	<p>（指定管理者の評価に対する県の評価）</p> <p>指定管理者においては、すべての項目についてB評価としている。</p> <p>「管理業務の実施状況」については、植物管理や施設管理を適切に行っており、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>「施設の利用状況」については、野球場及びテニスコートの合計利用者数が年5回のテニス教室、プロ野球OBによる野球教室等により、1,016人増（前年度比104.8%）であったため、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>「成果目標及びその実績」については、年間公園利用者数が成果目標に対し、95.3%の達成率となったが、平成27年度に比べて利用者数が増加したことから、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>（今後の課題又は指定管理者への期待）</p> <p>成果目標を達成するために、年2回の大型イベント（スプリングフェスタ、オータムフェスタ）の充実、平日の施設利用を促進するために、各種教室の開催を実施していく必要がある。</p> <p>利用者の安全・安心を確保するため、より一層適切な維持管理を行う必要がある。</p>
--------	--

<指定管理者の評価・報告書（平成28年度分）>

指定管理者の名称：(有)太陽緑地

1 管理業務の実施状況及び利用状況

(1) 管理業務の実施状況

① 大仏山公園事業の実施に関する業務

- ・広報、ホームページ等で周知されてきた年2回の大型イベントは平成27年度同様好評であるが、スプリングフェスタについては、サミットの影響のため時期を例年5月から6月に変更したため、若干の減少（約500人）が見られた。
- ・平成28年度は新たに「星の観察会」を8月、10月の2回実施し、受付開始当日に定員50名の満員となる申し込みがあり、非常に盛況であった。
- ・公園内の樹木に木製の樹名板をかけ散歩する来園者から好評を得ている。
- ・テニス教室を年5回開催し、平日の昼間の利用促進につながっている。
- ・市内宿泊施設と協力して、スポーツ合宿（野球）の誘致を実施し、利用促進につなげている。

② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

- ・公園全体が快適な景観を維持できるよう、緑地管理を適宜行った。
- ・当公園は遊具の数が多く利用者も多いため、引き続き2ヶ月に1度は専門業者が点検しており、利用者が安全かつ快適に利用できるように努めている。
- ・職員による巡回の回数を夏場は7回、冬場は5回実施し、園内の安全管理の強化に努めている。
- ・修繕については、放流ポンプ1台、漏電ブレーカー交換、照明灯取替、非常口誘導灯取替、子供広場男子トイレ小便器詰り、多目的広場女子トイレ水漏れ、野球場横及び多目的広場手洗い、テニスコート横トイレおむつ替えシート設置、多目的広場4連ブランコ修繕を実施した。

③ 県施策への配慮に関する業務

- ・「持続可能な循環型社会の創造に向けた環境保全活動」として、緑地管理で発生した刈草や枝葉は園内の森林地に敷き、自然に帰すようにしている。
- ・「次世代育成支援」として、年2回の大型イベント（スプリングフェスタ、オータムフェスタ）のプログラムに、ゆるキャラとの記念撮影やふれあい動物園を取り入れ、子供たちに人気を博している。

④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

- ・情報公開実施要領に基づき対応している。平成28年度の開示請求は0件であった。
- ・管理マニュアルを作成し、職員に周知している。

⑤ その他の業務

園内利用者の熱中症対策の1つとして、気分が悪くなった人のために経口補水液を常備した。

(2) 施設の利用状況

<目標>	年間公園利用者数	22万人
<実績>	年間公園利用者数	209,728人
<内訳>	園内利用者数	187,150人
	野球場	10,380人
	テニスコート	12,024人
	ゲートボール	174人

2 利用料金の収入の実績

〈目標〉	利用料金収入	560万円
〈実績〉	利用料金収入	5,239,100円
(内訳)	野球場	1,521,180円
	テニスコート	3,717,920円

3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位：円)

	収入の部		支出の部		
	H27	H28		H27	H28
指定管理料	44,126,000	44,255,480	事業費	31,237,380	30,996,740
利用料金収入	5,539,740	5,239,100	管理費	17,495,019	18,251,605
その他の収入	0	0	その他の支出	0	0
合計(a)	49,665,740	49,494,580	合計(b)	48,732,399	49,248,345
収支差額 (a)-(b)	933,341	246,235			

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

※参考

利用料金減免額	0
---------	---

4 成果目標とその実績

成果目標	年間公園利用者数 22万人
成果目標に対する実績	年間公園利用者数 209,728人
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・好評である星の観察会を継続していくとともに、新たな教室の開催を検討していく。 ・春秋の2大イベントのさらなる充実。(マンネリ化を防ぐための新企画の充実) ・安心かつ安全に公園を利用してもらうため、老朽化対策や防犯対策を県と協議していく。

5 管理業務に関する自己評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	H27	H28	
1 管理業務の実施状況	B	B	維持管理の緑地管理については、全体的に利用者に配慮した適切な管理ができた。 運営管理についても利用者への丁寧な接客を心がけ、十分なコミュニケーションを図っているため、トラブル等もなく管理している。修繕については電気、水道関係が多く、その都度迅速に対応した。
2 施設の利用状況	B	B	施設の利用者数が平成27年度に比べ野球場で779人、テニスコートで237人増加したが、利用料金としては約30万円の減収であった。減収の理由としてはテニスのナイター使用が減ったためである。利用者の増加については、プロ野球関係者による野球教室の開催とテニス教室受講者が増えてきたためと考えられる。
3 成果目標及びその実績	B	B	公園利用者数は209,728人で、平成27年度の209,310人より約400人増えているが目標は達成できなかった。成果目標に対する達成率は95.3%であった。 星の観察会を継続していくとともに、新たな小規模イベント(教室)の開催の検討など利用拡大につなげていきたい。

※評価の項目「1」の評価：
 「A」→業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 「B」→業務計画を順調に実施している。
 「C」→業務計画を十分には実施できていない。
 「D」→業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価：
 「A」→当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 「B」→当初の目標を達成している。
 「C」→当初の目標を十分には達成できていない。
 「D」→当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	<p>●上記の評価に至った根拠・理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営管理、維持管理、修繕業務とも適切に行っている。 ・野球場・テニスコートは平成27年度より利用者数は増えているが、料金収入については減少しているため利用拡大に向けた取組を検討していく。 ・利用者数についても平成27年度より約400人増加したが、まだ目標まで1万人程度足りないため小規模イベント(教室)等の開催も含め利用拡大を検討していく。 <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント情報を伊勢市、玉城町、明和町の3市町の広報誌に掲載しているため、春秋の2大イベントについては、今回も盛況であった。引き続き内容の充実をめざしていく。 ・今後も環境にも配慮しつつ、危機管理等も含め、利用者に配慮した適切な管理を継続していく。
--------	--

指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（平成28年度分）

<県の評価等>

施設所管部名： 県土整備部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	県営都市公園 熊野灘臨海公園（北牟婁郡紀北町地内）
指定管理者の名称等	紀伊長島レクリエーション都市開発株式会社 代表取締役 吉川勝也 （北牟婁郡紀北町東長島3043番地の4）
指定の期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> 公園の維持修繕及び巡視点検に関する業務 公園の利用者への案内に関する業務 条例に基づく公園の利用時間の変更、公園内の行為の制限、利用の禁止又は制限 公園の利用の促進 その他の業務

2 施設設置者としての県の評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	H27	H28	H27	H28	
1 管理業務の実施状況	B	B			利用者の安全に配慮し、植物管理や公園施設の適正な管理が行われている。
2 施設の利用状況	B	B			平成25年度の高速度道路の延伸や平成27年度の紀北パーキングエリアの開業の影響を受け、道の駅「紀伊長島マンボウ」の利用者数は平成27年度に大幅に減少し、平成28年度も依然として同じような状況が続いている。一方で、道の駅「紀伊長島マンボウ」において、「まんぼう楽市」等のイベントの開催やライダー向けツーリングガイドの配布などを行った。
3 成果目標及びその実績	C	C			年間公園利用者数の実績は、成果目標とした70万人に対して、580,503人となり、成果目標を達成できなかった。

※「評価の項目」の
 県の評価： 「+」（プラス） → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 「-」（マイナス） → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 「 」 （空白） → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総合的な評価	<p>（指定管理者の評価に対する県の評価）</p> <p>指定管理者においては、「成果目標及びその実績」についてはC評価とし、他の項目についてはB評価としている。</p> <p>「管理業務の実施状況」については、植物管理や施設管理を適切に行っており、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>「施設の利用状況」については、平成26年3月の紀勢自動車道の延伸及び平成27年6月の紀北パーキングエリア（始神テラス）の開業により、片上池地区の利用者数が以前に比べ大幅な減少となっているが、道の駅「紀伊長島マンボウ」でのイベントの開催などの取組を行ったことから、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>「成果目標及びその実績」については、年間公園利用者数が成果目標に対し82.9%の達成率となり、目標を未達成であったことから、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>（今後の課題又は指定管理者への期待）</p> <p>紀勢自動車道の延伸や紀北パーキングエリア（始神テラス）の開業が影響し、平成27年度は片上池地区の道の駅「紀伊長島マンボウ」の利用者が大幅に減少することとなり、平成28年度も同じような状況にある。しかしながら、紀勢自動車道延伸により東紀州地域全体への観光客は大幅に増えていることから、好機と捉え、近隣観光施設及び行政とも連携し、積極的に当公園の魅力情報を発信していくことを期待する。</p> <p>利用者の安全・安心を確保するため、より一層適切な維持管理を行う必要がある。</p>
--------	--

<指定管理者の評価・報告書（平成 28 年度分）>

指定管理者の名称： 紀伊長島レクリエーション都市開発株式会社

1 管理業務の実施状況及び利用状況

(1) 管理業務の実施状況

① 熊野灘臨海公園事業の実施に関する業務

6月、浅間海岸で、中日新聞社後援投げ釣り大会を開催した。参加者50人。
7月、浅間海岸で、海岸清掃ボランティアキャンプを実施した。2日間で参加者35人。
10月・11月、孫太郎オートキャンプ場で「名月コンサート」を開催した。2日間で参加者70人。
11月、道の駅「紀伊長島マンボウ」で「まんぼうまつり」を開催した。来場者600人。

② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

植物管理、清掃管理、保守点検及び巡回警備等については、例年どおり直営又は委託により滞りなく実施した。
トイレの小修繕（センサー、漏水、フロート故障等）、大白管理棟トイレ排水管の補修工事、タイマー・電灯等電気関係部品交換、巡回車の修理を実施した。
その他、危険を及ぼす可能性のある樹枝の伐採や、避難路の確認、遊具点検強化、施設の劣化確認、害虫等の防除、禁止事項の注意喚起等、安全管理を最優先に実施した。

③ 県施策への配慮に関する業務

次世代育成への取組については、子供向け体験教室（落書きランド、皿絵付け、グラスお絵かき等）を数多く実施した。また、共催するイベントについても、主に園児児童を対象とした植樹（マンボウ倶楽部）や花火大会（ふらここ・こひつじ保育園）、祭りイベントを実施した。
持続可能な循環型社会の創造に向けた環境保全活動に関する取組としては、城ノ浜地区において海岸清掃ボランティアキャンプを実施した。
また、地震防災対策として公園各地区（4地区）において、消防訓練と津波避難誘導訓練を実施した。

④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

情報公開実施要領に基づく申請及び情報公開については、開示請求なし。

⑤ その他の業務

巡視員会議を年間6回実施し、公園の維持管理に係る情報共有を行った。

(2) 施設の利用状況

<目標> 年間公園利用者数 70万人
<実績> 年間公園利用者数 580,503人
(内訳) 城ノ浜地区 81,425人
片上池地区 439,608人
豊浦地区 19,921人
大白地区 39,549人

<行為許可>

他団体による公園利用は8件。この中には、紀北町による特産品のPR事業、保育園の花火大会、サミット応援事業「和太鼓競演」、町内の若者による音楽イベント「ウトテオドレバ」等があった。

2 利用料金の収入の実績

--

3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位：円)

	収入の部		支出の部		
	H27	H28		H27	H28
指定管理料	60,686,000	60,686,000	事業費	39,110,100	38,890,697
利用料金収入	0	0	管理費	22,447,791	22,805,299
その他の収入	3,191,332	2,961,248	その他の支出	0	0
合計(a)	63,877,332	63,647,248	合計(b)	61,557,891	61,695,996
収支差額 (a)-(b)	2,319,441	1,951,252			

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

※参考

利用料金減免額	-
---------	---

4 成果目標とその実績

成果目標	年間公園利用者数 70万人
成果目標に対する実績	年間公園利用者数 580,503人
今後の取組方針	<p>熊野灘臨海公園は、三重県の南部に位置し、熊野古道やロケーション、美味しい魚や釣り等とともにPRを推進し、集客交流に努め、地域活性化を図ることが使命と考える。</p> <p>城ノ浜地区においては、孫太郎オートキャンプ場でのイベント開催や、体験メニューの充実に取り組んでいく。</p> <p>片上池地区においては、紀勢自動車道の延伸及び紀北パーキングエリア(始神テラス)の開業の影響により、以前に比べ利用者が大幅に減少しているため、片上池地区周辺の魅力作りと、他団体との広域連携等を充実させることを目的として設立したマンボウ倶楽部の事業を拡大させていく。</p> <p>また、安全管理においては、日常巡回による安全確認の徹底を継続していくとともに、施設の経年劣化などにより生じる危険箇所や不具合等にも確実に対応していく。</p>

5 管理業務に関する自己評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	H27	H28	
1 管理業務の実施状況	B	B	植物管理、清掃管理、保守点検及び巡回警備等、すべて滞りなく実施した。
2 施設の利用状況	B	B	片上池地区においては、紀勢自動車道の延伸及び紀北パーキングエリア（始神テラス）のオープンの影響を受けて平成27年度に利用者が大幅に減少し、平成28年度も同じような状況にあるが、公園の利用促進に向け、イベントやPR活動を中心に様々な自主事業を実施した。 また、南部地域10市町で構成する実行委員会と県の協力のもとで発行されたライダー向けツーリングガイドを道の駅や観光協会、孫太郎オートキャンプ場で大々的に配布したところ、目に見えてバイク客が増加している。
3 成果目標及びその実績	C	C	年間公園利用者数は、成果目標70万人に対し、580,503人となり、目標未達成となった。

※評価の項目「1」の評価：
 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価：
 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 「B」 → 当初の目標を達成している。
 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	<p>●上記の評価に至った根拠・理由</p> <p>維持管理については、概ね適切に植物管理及び施設管理を実施した。</p> <p>施設の利用状況については、片上池地区において、紀勢自動車道の延伸及び紀北パーキングエリア（始神テラス）の開業の影響を受けて、平成27年度から公園利用者数が大幅に減少しているが、公園の利用促進に向けて様々なイベントを実施した。</p> <p>年間公園利用者数は昨年度から比べ1万8千人近く増加しているが、目標を達成できなかった。</p> <p>なお、平成29年度の成果目標を70万人とする。</p> <p>●残されている課題</p> <p>平成26年3月に紀勢自動車道が尾鷲北ICまで延伸したこと、平成27年度に紀勢自動車道の紀伊長島ICと海山ICの間に紀北パーキングエリア（始神テラス）が開業したことにより、平成27年度において、道の駅「紀伊長島マンボウ」の利用者数が大幅に減少し、依然として同じような状況にあることから、より一層の利用者増に向けたPR活動が必要となる。</p> <p>また、施設の老朽化も顕著であることから、引き続き適切な維持管理を行う。</p> <p>●その他</p> <p>紀勢自動車道の延伸により、東紀州地域全体への観光客が増加していることから、紀北町の観光政策や地域の関係機関との連携を深め、積極的な広報活動を行い、片上池地区へ県外利用者など新規利用者を開拓していく。</p> <p>また、城ノ浜地区及び大白地区の施設においても、イベントや体験メニュー等の充実を通じて集客を図る。</p> <p>さらに、道の駅「紀伊長島マンボウ」をバイクで訪れる利用客が如実に増加していることから、南部地域10市町で構成する実行委員会と県の協力のもとで発行されたライダー向けツーリングガイドを含め、多方面への情報発信を積極的に行っていく。</p>
--------	---

指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（平成28年度分）

<県の評価等>

施設所管部名： 県土整備部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県流域下水道施設 北部浄化センター (三重郡川越町大字亀崎新田 80 番地の 2 他) 南部浄化センター (四日市市楠町北五味塚 1085 番地の 18) 雲出川左岸浄化センター (津市雲出鋼管町 52 番地の 5 他) 松阪浄化センター (松阪市高須町 3922 番地 他) 宮川浄化センター (伊勢市大湊町 1126 番地) 三重県流域下水道普及啓発施設 北部処理区スポーツ広場 (三重郡川越町大字亀崎新田 80 番地の 2 他) 松阪処理区高須町公園 (松阪市高須町 3227 番地の 8 他) 宮川処理区スポーツ広場 (伊勢市大湊町 1126 番地)
指定管理者の名称等	公益財団法人三重県下水道公社 理事長 稲垣 司 (松阪市高須町 3922 番地)
指定の期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> 流域下水道の機械設備及び電気設備の運転操作に関する業務 流域下水道の施設、設備及び備品の維持管理に関する業務 その他の業務

2 施設設置者としての県の評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	H27	H28	H27	H28	
1 管理業務の実施状況	B	B		+	季節、天候、流入水質等が変動するなかで目標放流水質での運転管理に努め、安定したサービスの提供とコスト縮減に取り組んだことは、特に優れた実績であると判断した。
2 施設の利用状況	B	B			年々増加する流入汚水に対応して污水处理業務を実施するとともに、施設見学者を受け入れているなど、下水道の普及啓発に積極的に取り組んだことから、評価は妥当である。
3 成果目標及びその実績	B	B	-	+	年間を通じて目標放流水質を遵守することができた。 また、コスト縮減についても順調に成果を上げていることから、特に優れた実績であると判断した。

※「評価の項目」の
 県の評価 : 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総合的な評価	<p>(指定管理者の評価に対する県の評価)</p> <p>下水処理に係る専門的な知識とノウハウを生かし、法定排水基準よりさらに厳しい目標放流水質を遵守することで、公共用水域の水質保全に寄与している。</p> <p>また、施設の稼働条件や薬品の注入条件を変更する等により、コスト縮減に取り組むことで流域関連市町の費用負担軽減につながったことから、「管理業務の実施状況」及び「成果目標及びその実績」については、県の評価をプラス評価とした。</p> <p>なお、「施設の利用状況」については、下水道の普及啓発のため、浄化センターへの見学者の受け入れなど、下水道の普及啓発に積極的に取り組んだことから、評価は妥当である。</p> <p>(今後の課題又は指定管理者への期待)</p> <p>流域下水道施設の維持管理については、今後も良好な放流水質を確保するとともに、引き続きコスト縮減にも取り組むことを期待する。</p> <p>また、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減に向けた適切な点検や効果的な維持修繕についても期待する。</p>
--------	---